

地域おこし協力隊に会いに行きました !!!

みなさんは「地域おこし協力隊」をご存知ですか？

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化の進行が著しい地域に都市部や地域外の人を地方公共団体が受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定着・定住を図り地域力の強化を図ることを目指した制度です。三重県でも地域おこし協力隊が活動しており、大台町では、株式会社や行政、NPO などさまざまな事業所に配属され活動されています。今回の特集は、そんな大台町で活動している地域おこし協力隊の方々にお話を伺いました！

木村純子 さん ・大阪府出身 ・大台町観光協会に在籍

大台町に来るきっかけは、大杉谷自然学校でのエコツーリズムガイド育成研修を受けたことでした。自然が好きで、以前は大杉谷の山小屋で 3 年間働いていました。その経験は観光協会でも活かせるのではと思い、地域おこし協力隊（大台町観光協会）として働くことになりました。この地域が気に入り住み続けています。

現在、観光協会のスタッフ 3 名で観光振興に関する業務全般を行っています。主に観光者への案内業務や体験提供、町外、県外への情報発信、町内の観光業者の関係調整をしています。観光客向けには、協会自らでアウトドアプログラム（Verde）を企画・運営し、インストラクター、コンダクター業務に携わっています。

近い日程では、3月25日～4月3日に宮川でSUPを楽しめるイベントを実施予定です。ほかには、町民向けツアーの企画や、ホームページ更新、チラシ作成といった広報活動も行っています。なにせ人手が足りないような状況ですね。今後は少しでも大台町を知ってもらえるよう、今ある山や川を活かして、人が集まる工夫をし「なんか、ここ良いね」と思ってくれる人が増えるきっかけづくりをしていきたいです。

港 達也 さん ・大阪府出身 ・株式会社宮川観光振興公社に在籍

妻の実家である奈良で商売をしていました。商売はそこそこの順調でしたが、とにかく忙しく、毎日が過ぎていく生活を送っていました。このままでは生まれてくる子どもにも良い影響を与えないと考え、子どもが生まれたことをきっかけに働き方を見直しました。人の縁もあり三重県に移住し、今は株式会社宮川観光振興公社で活動しています。主にリゾート型滞在施設である「奥伊勢フォレストピア」の運営に関する業務をおこなっており、私は営業中心に担当しています。情報発信をしたり、企業のセミナーやイベントで施設を使っただけのよう、提案をさせていただいています。

木村さんの観光協会とも連動性が高いので、今後も連携しながら仕事を進めていきたいと考えています。私はこの事業所へ来て5カ月ですが、今まで人手不足もあり営業の専従スタッフがいなかったという状況であったため、施設の広報活動に注力することが難しかったように思います。今後、地域機関と連携しながら地道にコツコツ広報活動を行い、この町にたくさんの方が来るようになってほしいと思います。外からきた人間だからこそ気がつくことができる地域の魅力をいかにみせていくのかを考え、発信していくことが私たちの仕事なのだと思います。

近藤克彦 さん ・兵庫県出身 ・大台町役場企画課に在籍

学生生活と就職で東京に 13 年ほどいたのですが、たまたま縁があっただけで現在三重で活動しています。三重県は知り合いも誰もいないですし、バイクで通ったことがあるくらいでした。今は三重で活動してから 3 年目になります。

活動内容は、大台町唯一の県立高校の魅力化プロジェクトを担当しています。4 年ほど前から定員割れをおこしており、この学校がなくなれば尾鷲—飯南間の 60 km の間に、公立高校がなくなってしまうため、町も危機感を持ち、衰退を防ぐためにこのプロジェクトが立ち上がりました。地元中学生が地元の公立への進学を希望したり、地域住民がもつ学校に対するイメージアップが図れるよう日々取り組んでいます。具体的には、学生を地域の人と触れ合わせる機会をつくっています。ボランティア・地域活動に参加させることでお互いを知るきっかけになり学生と地域の方の関係性が変わる事を目指しています。また、高校生に小学生に向けた授業をさせる取り組みの手伝いを行っています。将来的に、町外の高校へ行かなくても大学進学が目指せるように町ぐるみで教育ができる仕組みや、地元で就職したい子が後継者のいない事業所等で、就職につながる職業体験ができるようなデュアルシステムをつくり、それを町の売りにしていくらと思えます。

取材スタッフ 所感

地域を盛り上げていくために、地元の人が気づけなかった視点から生まれた新しいアイデアを受け入れていくことも必要なのではと感じました。地域おこし協力隊は、成果をださなければならないというプレッシャーがある一方で外から来た者として地域の方の理解を得ながら活動を行っていくという難しさを抱えて活動されています。

そんななか、大台町ではさまざまな事業所に地域おこし協力隊が配置され業務をまかされており、他の事業所の協力隊と連携し地域のためにできることはなにかを自由に考え、動けることから「大台町は地域おこし協力隊に理解があり比較的活動しやすい、この地域に来てよかった！大台町に感謝しており、これからも地道に活動を続けて成果を出せるように貢献していきたい」という声を聞くことができました。県外出身の方からみる地域の魅力を聞くことで、地元への関心が高まりました！

